

マスクの下は笑顔で

校長 関川 紀美子

校庭の木々の葉が赤や黄に色づき始めました。子どもたちの装いも長袖へと変わり、季節の移り変わりを実感するこの頃です。

朝夕の寒暖差の激しい毎日ではありますが、ご家庭でお子様への体調管理など、いつものことながら、ご配慮いただきありがとうございます。



さて、9月は6年生が佐渡島へ修学旅行に出かけることができました。晴天にも恵まれました。10月には台風14号の動きがとても気になりましたが、藤塚浜運動会を実施することができました。少ない時間ではありましたが、6年生を中心に集中して練習に取り組みました。今年度は規模を縮小しての実施となりましたが、新しい生活様式のもと、保護者や地域の皆様より子どもたちへの温かい声援をたくさんいただきました。関係者の皆様からのご理解とご協力の賜物と心より感謝を申し上げます。

世界を現在も新型コロナウイルス感染症が席卷しています。新しい生活様式が打ち出され、ウィズコロナというステージでは、マスク着用は当たり前になりました。

暑い夏場のマスク着用は大変つらいものでしたが、涼しくなるにつれ少しは軽減されつつあります。

アメリカ心理学者、アルバート・メラビアンの「メラビアンの法則」では、初めて会った人の第一印象は、視覚的な要素が55%、聴覚的な要素が38%、話の内容が7%と言われています。このことから、初めて会った時の5秒程度の会話だとしても表情や態度、挨拶や言葉遣いなどで印象は決まると言われているそうです。新しい生活様式により、顔の3割から5割を覆うマスクをして生活をしている私たちです。学校生活では比較的緩やかではありますが、「3密」を避ける日常生活は現存しています。多くの制約を抱えてストレスを感じながら生活している中で、人と対面するときは、少しでも気持ちの良い交流ができるように最低限、挨拶や表情、態度、言葉遣いを意識することで、人と人との温かい関係が保てるのではないかと考えています。

「マスクの下は笑顔で」。ウィズコロナの時代だからこそ人の温かみを考えるチャンスととらえて、藤塚小学校では、子どもに軸足を置いた教育活動をこれからも状況に応じて推進していきます。保護者の皆様、地域の皆様、どうぞよろしく願いいたします。

